

丘の上の教会

南房教会のクリスマス

2017年クリスマスのご案内と

お招き



聖家族 渡辺楨雄

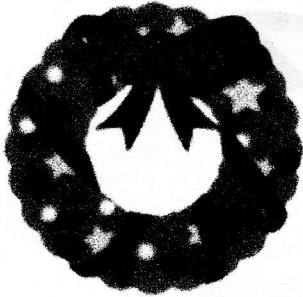
日本キリスト教団 南房教会

牧師 原田史郎・原田多恵子

294-0038 館山市上真倉1958

でんわ 0470-23-9910

本当のクリスマスをあなたに !



今年のクリスマスのご案内とお招き

「恐れるな。わたしは民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

ルカによる福音書 2章10~11節

クリスマスおめでとうございます

人類は進化し成長するものと、長く信じられてきましたが、どんなに科学技術が発展し、新しい発見がなされても、わたしたち人間世界の混迷と闇はますます深まるばかりです。平和が遠のき危機的な事態が迫り、寛容から排斥と差別、格差の溝は容易に埋め難く、歴史は新しいステージに入ったように思えます。希望という光を求めながら、深まる闇に直面して戸惑っている今日の世界です。

しかし、闇が深まればこそ、主なる神さまは、わたしたちに光を与え、救いに導いてくださるお方です。クリスマスは、神さまの救いと光が、輝き現されるときです。闇の中にある人々に、神さまは「救い主イエス・キリスト」によって、希望と喜びを与えてくださるのです。

南房教会では、次のようにクリスマスの諸行事を計画しております。どうぞこの機会に、ご出席くださいますことを、心からお待ちしております。

今年のクリスマスの祝祭日は降誕日を祝う「クリスマス礼拝・祝会」は、12月24日(日)に持ちます。「聖夜燭火讚美礼拝(クリスマス・イブ)」は、同日の夜、簡素に守ります。12月の最初の週から始まるクリスマスの前の4週間は、「待降節(アドベント)」と呼ばれ、救い主の御誕生を待ち望む4週間です。南房教会の教会堂と柵に、クリスマスのイルミネーションがともされたならば、もうアドベントが始まっているのです。

待降節 (アドベント) の礼拝

12月3日 (日) 午前10時30分 待降節第一主日礼拝

メッセージ「**主の希望を見よ**」 原田史郎牧師

12月10日 (日) 午前10時30分 待降節第二主日礼拝

メッセージ「**神の言葉に留まる**」 原田史郎牧師

12月17日 (日) 午前10時30分 待降節第三主日礼拝

メッセージ「**わたしの霊は主をあがめる**」 原田史郎牧師

降誕日 (クリスマス) の礼拝

◎ **12月24日 (日)** 午前10時30分 クリスマス特別礼拝

メッセージ「**キリストが来られた**」 原田史郎牧師

・クリスマス祝会 (礼拝後)

持ち寄りの食事を共にします。キャロルの合唱等あります。

初めての方はご招待ですのでお気軽のご参加ください。



12月23日 (土) 午後1時30分 こども聖書会 クリスマス

メッセージ「**イエスさまのおたんじょう**」 原田多恵子牧師

幼稚科、小学科、中学科、高校科のこどもたちによる劇や歌、クリスマスページェントなどがあります。礼拝後はお楽しみ会です。

12月24日 (日) 午後7時 クリスマス・キャンドル・サービス

メッセージ「**あなたの心にクリスマスを**」 原田多恵子牧師



アドベントの黙想「慰めを伝える者」

イザヤ書40章1～11節

牧師 原田 史郎

「慰めよ、わたしの民を慰めよと、あなたたちの神は言われる」と旧約聖書の預言者イザヤは、イスラエルの民に語りかけます。当時、イスラエルの民は、国を失い、大国バビロンに強制連行され、捕囚の民でした。

「慰め」は「心をなごやかにさせ、気をまぎれさせる」(『大辞林』)ことです。すなわち心が一時的であれ晴れ晴れするように、心が安んじるという内面的な状態を指しています。

しかし、旧約聖書のヘブル語「慰め(ナハーム)」は、このような一時的な慰安ではなく、わたしたちに根本的な状況の変化をもたらす神の力なのです。闇にさ迷い絶望していた者が、希望を見出し生きる勇気を与えられ、起き上がって光に歩み始めるのです。救い主イエス・キリストの誕生は、悲しんでいた者が喜ぶ者になる大きな「慰めと希望」なのです。

交通アクセス

バス：館山駅から神戸(かんべ)経由白浜行き
「相生橋」で下車、徒歩で3分

車：富浦から127号線を白浜方面に直進
跨線橋を超え、里見の湯の信号を右折
直進して、「五霊山」信号を左折すぐ

